

第一回 入間市交通利用者分科会

5月23日(月) 13:30-15:10 西武バス狭山営業所

参加者：

公共交通協議会：高橋委員

交通利用者分科会：久保様、塚原様、双木様、細谷様、齋藤様、茂木様

西武バス(株)：狭山営業所 大石所長、原口様、他3名

西武バス労働組合：小河書記長

事務局：入間市市民生活課 齋藤課長、藤田主幹

国際航業(株) 植木、生田、車田

時刻	内容
13:00	入間市役所正面玄関集合
13:30	西武バス営業所着
13:40	西武バス狭山営業所所長 大石茂様より 西武バスの概要・狭山営業所の概要・導入システムの説明
14:15	狭山営業所見学、意見交換
15:10	第1回交通利用者分科会終了
15:40	入間市役所着、解散

1. 西武バスにおける運行管理、安全管理に関する取り組みについて

<導入システム>

- バスロケーションシステム
運行中のバスの現在位置をお客様のスマホ・タブレットで確認できるとともに、営業所でもバスの位置や遅れを一元的に管理するシステム
- PTPS（公共車両優先システム）
バスを優先的かつ円滑に通行できるようにする支援システム（バスが信号付近に近づくと、車両感知器が反応し、信号機の青信号の延長・赤信号の短縮を行うシステム）
- ナビゲーションシステム
バスの運行経路の間違いを阻止するシステム
- EMS（エコドライブ管理システム）
運転士の運行状況を確認できるシステム（安全運転しているか等）
- 電子点呼システム
指紋認証による本人確認、アルコール点検、免許証確認など、運行前・後に点呼確認
- PASMO・SUICAの導入
学トク定期券の導入

<運転士教習>

- 従業員（運転士）を 8-10 名/1 班に分け、班ごとの安全教習
- 運転適正のチェック（3年に1度）
- 半年に一度の健康診断（SAS=睡眠時無呼吸症候群の検診）
- 5年未満の運転士は熟練運転士に運転指導を受ける
- H27年の事故件数は15（大きな事故は0）
- 事故防止マニュアルを毎年更新
事故は車内の転倒事故が一番多く、次いで自転車の接触事故が多い。

<運転士に関して>

- 全国的に運転士不足に陥っている。
- 子どもに対して、バスを身近に感じてもらい、将来運転士になりたいと思ってもらえるよう努力している。
- 現在、60歳以上の運転士の方もいる。

<バス時刻表、路線変更について>

- 電車のダイヤ改正があると、バスもそれに応じてダイヤを変更する。
- 路線の変更は当面予定していない。
- 飯能市に予定されているテーマパークが設立された場合、多少の路線変更・追加はあるかもしれない。

2. 意見交換（分科会メンバーから）

- 宮寺・二本木地域へ行く急行バスがあると有り難い。
- 60歳以上を運転士として積極的に雇用していくことは考えられないか。
- コミュニティバスが成功している事例（武蔵野市など）を参考にしているかどうか。
⇒武蔵野市と入間市では、市街化の状況や地形条件も異なるため、一概に真似することはできない。
- 通勤・通学をていねいに対応するのかどうか
⇒今度の協議会での議論になる。
- みずほモールへバスを回せないか（県境を越える運行はできないか）
- 月曜運休は、公共交通としていかがか。

以上

【見学風景】

